

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

**December
ISSUE**



**December 2024
Volume 151**

An Unlikely Friendship

As teachers, we teach children to forgive others when they do bad things to them and that they should always give them another chance. At DIA we learn that the bible tells us in Luke chapter 6, verse 31, "Do for others just what you want them to do for you." This lesson is important for young children as they explore their personalities and learn to become members of a group or class in preparation for developing into responsible decision-making adults. For adults, this lesson of forgiving is not an easy one and often is challenging, but forgetting about bad experiences in the past can be even more difficult.

I had the privilege of meeting two amazing people this year. First, I met a young American man named Mr. Ari Beser. He is the grandson of Lieutenant Jacob Beser who heard numerous tales of what took place during World War II from his grandfather. Lt. Beser was on both the plane that dropped the first atomic bomb on Hiroshima and also the plane carrying the atomic bomb that devastated Nagasaki in August of 1945. He gave a talk about the facts of what happened and did not specifically mention the responsibility for the choices that the United States of America made, nor those of Japan. His reason for speaking about his grandfather is to make sure that no human being ever again experiences the fate that the people in Hiroshima and Nagasaki did almost 80 years ago.

The second person I met was a guest speaker at DIA named Ms. Kosuzu Harada. She is the

granddaughter of Mr. Tsutomu Yamaguchi who fell victim to the atomic bomb in Hiroshima AND the one that wreaked havoc on Nagasaki. She has taken on the responsibility of sharing the story of her late grandfather as a *Hibakusha*. The number of living victims who are able to share their stories is dwindling year by year as age takes its toll on those whose futures were reshaped by the choices made during World War II.

What struck me the hardest was to find out that a relationship, even a friendship between these two grandchildren could even be possible. I met each of them separately and had the chance to discover that even though they were on the opposite sides of the horrific experience dealt to Hiroshima and Nagasaki that they shared a common goal: to work for peace and make sure that no one ever had to become the victim of atomic weapons and deal with the lingering effects they cause.

They have dedicated their time and energy to become peacemakers, just like DIA hopes for our students as we learn from the bible in Matthew chapter 5, verse 9 which tells us, "Happy are those who work for peace; God will call them his children!"

What we can learn from these two wonderful people is the power of forgiveness and hope for the future!

Scott Hemphill

Director of Academic Affairs



キリスト教教育

12月：喜び December：Joy

「なお、きょうだいたち、すべて真実なこと、すべて尊いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判のよいことを、また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい。」

フィリピの信徒への手紙 4 章 8 節（聖書協会共同訳）

「あなたの尊敬する人物は誰ですか。」昔からよく、こんな質問をされることがありました。その度に私は「一人に絞れない…」と感じ、考え込んでしまったものでした。というのは、どこに行っても尊敬に値する人物には出会いましたし（必ずしも感情的に好感を持っていた相手ばかりではありませんが）、その人が述べたうん蓄が何十年たった今でも自分の心に残っていて、知らず知らずのうちに物の考え方や行動の規準になっている場合があるからです。そういう意味では今まで出会った人たちの全てが尊敬すべき師匠であり、その人たちのお蔭で今の自分がある、と言っても過言ではありません。

しかしながらこれが「子どもの頃に自分が大好きだった人で、今に至るまでその人から影響を受けている人物」という意味なら、数は限られてきます。

肉親以外で今、私の目の前にはっきりと浮かんでくるのは、あるアメリカ人宣教師さんの顔です。実は上掲の聖書箇所は、この宣教師さんの愛唱聖句（好きな聖書の言葉）でした。若い頃にご家族で来日され、以来何十年日本の教会のために人生を捧げて来られて、あと 2, 3 年以内に宣教師の任を解かれて母国アメリカへ帰国される、という時期に私の家族はこの方と初めて出会い、滑り込みセーフのような形で洗礼（この教派では浸礼と言いました）を受けて頂きました。以来、我が家は家族ぐるみで毎日曜日に礼拝に出席するのみならず、水曜日の晩には祈禱会にも出席しました。当時小学生だった私は大人の輪に混じって聖書朗読を行い、順番が回ってきたら質問にも答え、最後に自由祈禱も一緒に捧げていました。塾帰りにあんパンを齧りながら両親と共に駅まで急ぐという毎水曜日で、忙しくはありましたが、この日々があったお蔭で今でも聖書を読むと、読んでいる文字に重なるようにして宣教師の先生のお声がその穏やかな表情と共に生き生きと蘇ってくるのです。

私が 10 歳の時に 70 歳でいらした方なので既にご存命ではありませんが、「あなたが解き明かしてくださった聖書の言葉は今も私の耳の中でこだまし、心の中に根付き、次の世代へと伝えるのに役立っています。どうもありがとうございました。」と、天国の先生にご報告したいです。



Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓

<お知らせ>

- ・ 11 月 28 日（木）同志社国際学院内「同志社創立記念礼拝」

児童版「同志社大学設立の旨意」の朗読や、Diamond Choir による同志社のオリジナル讃美歌「主の道をゆこう」の合唱があります（児童・教職員向け）。

- ・ 11 月 29 日（金）同志社創立 149 周年記念祈禱会

若王子山頂の同志社墓地にて、記念礼拝が持たれます。本年度は大学・小学校と共に国際学院も当番校の一つに当たっており、本校チャプレン・石川眞弓が奨励を致します。

- ・ 12 月 6 日（金）同志社国際学院初等部クリスマス礼拝（全校礼拝とクリスマス・ページェント）

全校クリスマス礼拝 8:35-9:10（児童・教職員向け）

クリスマスページェント

13:00-14:35（児童・教職員、3 年生保護者またはご家族・ご友人向け）

3 年生によるキリスト降誕劇で、DIA 有志アンサンブルの讃美歌伴奏があります。4, 5 年生も聖歌隊として劇を支えます。

礼拝メッセージは西原ももこ氏（同志社国際中学校・高等学校聖書科教諭）です。

※駐車券は 3 年生保護者と一部 SG にのみ配付されます。

- ・ 12 月 10 日（火）おにぎり献金

国内：岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり、福島県の若松聖愛幼稚園、熊本県の慈恵病院「こうのとりのゆりかご」、北陸学院キリスト教センター（石川県能登半島地震支援金口）

海外：日本ユニセフ協会「ウクライナ緊急募金」・「シリア緊急募金」・「ガザ人道危機緊急募金」

今年度レトリの施設にお届けします。ご賛同いただける方は、必ず様式を添付ください。

Grade 4 Unit4 「Who We Are」

秋学期の後半に入り、4年生はUnit4で「健康は、遺伝や個人の選択、環境の影響を受ける。」というセントラルアイディアに基づいて学びを進めました。初めに、「自分が健康だと思う人？」と聞くと、ほとんどの子ども達が手を挙げました。そこで、「自分が健康になるためにしていることがある人？」と質問すると少数の子ども達のみ手が挙がりました。無意識中に健康は大切だと分かっているながらも、健康になるために具体的に考える機会はありませんでした。Tuning In では、子ども達と一緒に健康であるために必要なことを考えました。睡眠、バランスのよい食事、運動などの他にも身の回りの整理やリラックスすることなど、心の健康が体の健康に繋がると考える子どもも見られました。

Finding Out では、人体模型キットを組み立てながら、人体の骨、筋肉、関節の構造とその役割について学びました。人体の構造は目では見えないけれどそれぞれ役割があり、体が様々な動きができるように作られているということを学びました。子どもたちは、体のパーツを一つ選び、本やインターネットから写真や絵を探してじっくり見て真似て描いたり、どのような動きをするか調べたりしました。調べた後は、友達にミニティーチャーとなって収集した情報を共有しました。何人かは、自らモデルになって腕や肩を動かしながら教えていると、聞いている友達からは「なるほど、そういうことか!」とすっきりと納得する反応が見られました。言葉だけでは少し難しい説明も、ジェスチャーを入れると一気に分かりやすい説明になります。



Sorting Out では、メダカと人の誕生について学びました。実はこれらの単元は5年生で学習する内容ですが、Unit4の学びに合わせて少し先取りして学びました。赤ちゃんがお母さんのおなかの中でどのように育って、うまれてくるのかを映像を通して学習しました。生命の尊重にも関わる大切な学習内容なので、「受精」、「羊水」、「胎盤」など難しい言葉を学びますが、しっかりとした理解をさせたいところです。そして子どもたちも自分の誕生についても振り返るべく、生れた時の体重や身長、エピソードなどを家族にインタビューしてもらうことにしました。友達と共有する際には、生まれた直後に家族に抱かれている姿やまだ大切に保管されている髪の毛や初めてはいた靴下など、子どもたちに対する家族の温かい想いが感じられる写真がたくさん見られました。インタビューしたエピソードには、「つわりがひどくてお母さんが好きだったさしみ食べられなかったらしいです。」や、「思ったよりも小さく生まれてきて家族が心配したみたいです。」など、今まで知らなかった当時の様子を知り、改めてお母さんや家族へ感謝の気持ちを持つことができました。



Unit4では何となくのイメージを持っていた「健康」が自分たちの体と健康を維持する為にはどのような工夫が必要なのかを学ぶきっかけになったと思います。Unit4の学習は終了しましたが、今回の学びを通して気付いたことや健康について改めて振り返ったことを活かし今後の生活に十分に生かして過ごしてほしいと思います。

そしてGoing Furtherでは、ゲストティーチャーをお招きしました。今回はなんと4年生の保護者の方にゲストティーチャーとして講義をしていただきました。1回目は元オリンピック選手だったお母さんをお招きし、強い骨や筋肉をつくるための栄養素や具体的な食事の組み合わせ、成長に伴った体の変化について学びました。2回目の講義では、フィットネストレーナーをされているお母さんから栄養素、筋肉をつくるトレーニング方法について教えていただきました。最後には実際に音楽に合わせてペアでエクササイズをするなど、体を動かして楽しみながら学ぶことができました。





クリスマスのおはなし

早いもので今年も残すところあと1カ月となりました。待ちに待ったクリスマスやお正月、楽しいイベントがやってきますね。素敵なクリスマスとともにこちらの本も一緒にご家族みなさまでいかがでしょうか。

『100にんのサンタクロース』谷口智則/文 文溪堂



ここは100にんのサンタクロースがすむまち。はるからクリスマスのまえのひまで、100にんみんなでちからをあわせて、クリスマスのじゅんぴをします。そしてとうとうクリスマスのひ、プレゼントをくばりおえると、ホッとひといき。ここからは、サンタさんたちだけのおたのしみ。たのしいクリスマスパーティーがはじまって…。

『星空としゃかんへようこそ』小手鞠るい/文 小峰書店



小学4年生のなずなはクリスマスプレゼントに、サンタさんに犬のぬいぐるみをおねがいしました。ところが、なずなに届(とど)いたのは一冊(いっさつ)の本。妹がおねがいたものと、まちがっていたのです。しかも、その本はとても悲しい物語でした。怒(おこ)ったなずなは、文句(もんく)を言うため、としゃかんへ向かい…。

『クリスマスクッキングふしぎなクッキーガール 12月のおはなし (おはなし12か月)』梨屋 アリエ/文 講談社



お友達と絶交中でちょっと不機嫌なれいなちゃんがクリスマスのクッキーを作っていたら、女の子の形のクッキーが突然話(はな)して…。

巻末に世界中のクリスマススイーツの紹介やジンジャークッキーのレシピも収録。

講談社児童文学新人賞受賞作家による幼年童話です。

『くまのこミンのクリスマス (講談社の創作絵本)』あいほろゆき-文 講談社



もぐらや、りすたちも集まって、みんな楽しいクリスマス♪

待ちに待ったクリスマス。おめかしをして、クリスマス・パーティー。でも、くまの子・ミンはサンタさんがちょっと怖い。夜になって、ミンの部屋に近づいてくる足音が。とびらが開いて、そこにいたのは…。

12月の主な行事・予定

12月9日～12月13日 SPTカンファレンス
12月19日～1月6日 冬季休業日

1	日	
2	月	Unit5(week3) G5校外学習/G5 Excursion
3	火	私小連人権教育研修会(3時間授業) (/Human rights education workshop for Kyoto private elementary school association(3 hours class))
4	水	委員会活動/Student's committee
5	木	
6	金	クリスマス礼拝/Christmas worship service G3 ページェント/G4 Pageant
7	土	
8	日	
9	月	SPTカンファレンス(午前授業)/SPT Conference(AM lessons)
10	火	SPTカンファレンス(午前授業)/SPT Conference(AM lessons)
11	水	SPTカンファレンス(午前授業)/SPT Conference(AM lessons)
12	木	SPTカンファレンス(午前授業)/SPT Conference(AM lessons)
13	金	SPTカンファレンス(午前授業)/SPT Conference(AM lessons)
14	土	
15	日	
16	月	午前授業/AM lessons
17	火	午前授業/AM lessons
18	水	終業礼拝(午前授業)/Closing worship service(AM lessons)
19	木	冬期休業日/ Winter Holidays
20	金	冬期休業日/ Winter Holidays
21	土	
22	日	
23	月	冬期休業日/ Winter Holidays
24	火	冬期休業日/ Winter Holidays
25	水	クリスマス休日/Christmas Holidays
26	木	冬期休業日/ Winter Holidays
27	金	冬期休業日/ Winter Holidays
28	土	
29	日	
30	月	冬期休業日/ Winter Holidays
31	火	冬期休業日/ Winter Holidays

1月の主な行事・予定

1/7(火) 始業礼拝(午前授業)
1/30(木)
~1/31(金) G6 Exhibition